

第 17 回 重要文化財 名古屋市東山植物園温室前館の保存及び活用に関する検討委員会の開催結果

東山植物園温室前館は、国内に現存する最古の本格的な鉄骨造温室建築である点などが評価され、平成 18 年に国の重要文化財の指定を受けています。温室前館を今後とも重要文化財として保存・活用していくことを目的に、平成 21 年度から保存修理工事の完了まで有識者による検討委員会を設置し、これまで老朽化が進んでいた鉄骨造温室の修理方針や修理計画などについて検討を進め、平成 28 年度に本格的な復原工事に着手しました。

今回、第 17 回の会議を公開で開催しました。

【日時】平成 31 年 2 月 15 日（金曜日）午後 2 時 00 分から 4 時 10 分

【場所】東山動植物園 植物会館

【出席者】

(1) 検討委員会委員：6 名

瀬口哲夫氏(会長) 名古屋市立大学名誉教授

小野徹郎氏(副会長) 名古屋工業大学名誉教授

飯田喜四郎氏 名古屋大学名誉教授

是澤紀子氏 日本女子大学家政学部住居学科准教授

溝口正人氏 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授

本間和枝氏 公益財団法人宇治市公園公社顧問、元宇治市植物公園園長

(2) 国、市及び関係機関出席者：16 名

(3) 報道関係者：0 名

【傍聴人】 1 名

【会議内容】

○議題 1. 保存修理工事の進捗状況について

◆現地視察

○議題 2. 岩組復原の実施設計（案）について

○議題 3. 温室内の展示活用実施設計（案）について

○議題 1. 保存修理工事の進捗状況について

事務局より、保存修理工事の進捗に関して説明し、了承を得ました。

◆現地視察

保存修理工事の進捗状況と議題である岩組復原の実施設計設計（案）と温室内の展示活用計画（案）に関して現地にて確認し意見交換を行いました。

○議題2. 岩組復原の実施設計（案）について

事務局より、岩組復原の実施設計（案）について説明し、了承を得ました。

その時の主な意見は次の通りです。

- ・岩組の下の空洞部をエアモルタルで充填することで、水の流れが止まってしまうことにはならないよう、排水処理の方法は検討してほしい。
- ・岩組の耐震設計に関して、岩組部分と基礎部分及び温室全体を含めて総合的に検討をしていただき、十分に構造の強化を図ってほしい。

○議題3. 温室内の展示活用実施設計（案）について

事務局より、温室内の展示活用実施設計（案）について説明し、植栽の内容について了承を得ました。また、展示方法について意見を頂きました。その時の主な意見は次の通りです。

- ・模型の展示ケースは温室入口の大事なところ設置しなくてもいいのでは。入口では、温室の空間を感じていただきたい。展示ケースのデザインが良くないので、再度検討してほしい。
- ・香りの有用植物室のハンズオンが、植物に対して目立ってしまうのではないか。植物が見にくくならないよう、バランスをとってほしい。
- ・植物の解説は、その時々情報を掲示するなど、生き生きとした情報が伝えられるとよい。
- ・香りの有用植物室の水槽遺構展示は、手すりなどが大がかりすぎる。下の遺構が見やすく、大がかりにならない展示構造を検討してほしい。
- ・東花卉室の水槽周りの舗装は、なるべくデザインされていないデザインでやってほしい。ガラスなどの床面で、切石を見せるということも考えられるのでは。
- ・東花卉室は、明治時代からの流れを踏まえ、今の日本の暮らしの中で、どのように植物を見せて気持ちのいい空間とするか提案してほしい。
- ・温室建物とガラス、そして植物が相まった美しい景観を作り出すために、植物の形状が大切である。重要文化財の温室を綺麗に見せるための管理計画をしっかりと立てていただきたい。